

概算数量設計による配水管布設工事発注方式（簡易 DB 方式）の試行実施について

1. 導入目的

堺市の水道事業における喫緊の課題として、増加する老朽化管路や地震等の大規模災害への対策として、管路更新による耐震管を早期に構築する必要があります。また、将来の職員減少を踏まえ、公民連携の推進を図る必要があります。これらに対応し、事業のスピードアップを図る手法として、概算数量設計による配水管布設工事発注方式（以下「簡易 DB 方式」という。）を試行実施するものです。

2. 導入時期

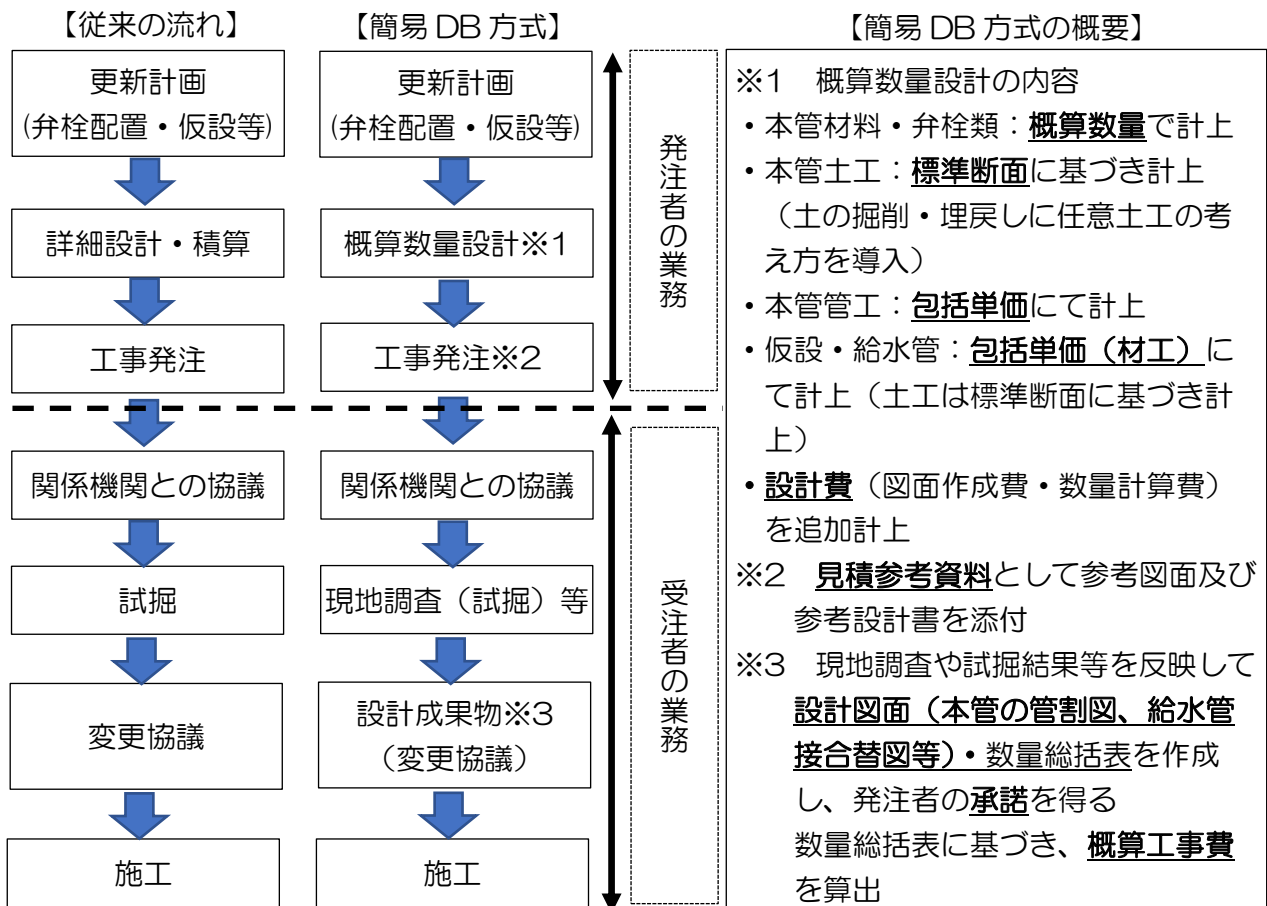
令和 3 年度より、配水支管（口径 300mm 以下）の布設工事において、試行的に簡易 DB 方式により発注します。

3. 簡易 DB 方式とは

配水支管（口径 300mm 以下）の布設工事において、これまで発注者が作成していた詳細設計図面等を省略し、概算数量設計にて積算のうえ発注、契約後に受注者が設計図面等を作成し、発注者の承諾により工事を施工する方式です。

4. 業務の主な流れ

工事の発注、契約から施工までの従来の業務の流れと簡易 DB 方式との比較、及び簡易 DB 方式の概要については下図のとおりです。



5. 期待される効果

簡易 DB 方式の実施に伴い、期待される効果は以下のとおりです。

(発注者側)

- 詳細設計図等を省略し、設計積算・検算業務を迅速化及び省力化することができます。
- 工事の早期発注及びスピードアップを図ることができます。

(受注者)

- 設計図等の作成期間を工事準備期間にあてることで、契約から現場着手まで受注者の裁量度が増し、機材や労働者の手配に余裕を図ることができます。
- 現地調査等により、現場条件に合わせた設計図面（管割図、給水管接合替図等）を作成することで、施工の自由度を高め、技術者としてのスキルアップを図ることができます。

6. 試行発注の実施

令和 3 年度より実施する簡易 DB 方式の試行発注について、下記のとおり進めていく予定です。

- 工事の入札は、従来の入札制度で実施します。
- 工事の発注規模は、従来の配水支管（口径 300mm 以下）の布設工事と同じ規模を想定しています。
- 試行実施の検証について、工事受注者様のご協力（アンケート調査を実施予定）をいただきます。
- 検証結果等を踏まえながら、試行発注を重ね、簡易 DB 方式の仕組みを確立するとともに、各年度の総発注件数のうち、簡易 DB 方式による発注を徐々に増加させていく予定です。

7. 今後の予定

簡易 DB 方式の試行実施に係る今後の予定としては、以下のとおりです。

- 令和 3 年 1 月中旬頃：簡易 DB 方式の説明資料等を上下水道局ホームページに掲載
- 令和 3 年 2 月～3 月：電子メール等による質問の受付、上下水道局ホームページにて回答を掲載
- 令和 3 年度：試行発注を実施